

## 令和7年度 第2回『人生会議 ACP』事例検討会

まつえアドバンス・ケア・プランニング普及・啓発推進協議会終末期グループでは、年3回事例検討会を開催し、毎回多くの医療・介護関係者のみなさまに、ご参加いただき意見交換を行うことで ACP について学びを深めています。令和7年 11 月 19 日、令和7年度第2回目の ACP 事例検討会を開催し、46 名の医療・介護関係者のみなさまに、ご参加いただきました！ 今回の事例検討会のテーマは「身寄りのない方の ACP」です。



### 1. ミニレクチャー

『あんしんサポート事業について』

- ✓ 松江市社会福祉協議会生活支援課 三好良和職員

事業の立ち上げ経過や対象者等について説明があり、“以前は「親族がない」という条件だったが、現在は「頼れる親族がない」という運用に変わってきた”等のお話がありました。

### 2. 事例紹介：『身寄りのない方の ACP』

- ✓ 発表者 松江市社会福祉協議会生活支援課 三好良和 氏
- ✓ コメンテーター 松江赤十字病院 医療社会事業課 課長 奥公明 氏

三好氏から病院から紹介の事例について、あんしん計画作成時は終末期については本人の望むことの聞き取りに一番時間をかけること、訪問の度に「私の医療に関する希望」等について話をして見直しをすること、今後身寄りのない方が増え、ますますあんしんサポート事業が重要になるという話をいただきました。

コメンテーターの奥氏からは、院内でも年間60件程、身寄りのない方に対応している。身寄りのないことによる「医療同意」については、さほど問題になっていない。認知機能低下・意識がない場合は多職種で本人の最善を話し合う。地域でも困難事例があれば日赤に相談してもらい、倫理カンファレンスの対応ができる場合もあると提案いただきました。

### グループトーク

グループトークでは、活発な意見交換が行われました！

(意見の一部)

- あんしんサポート事業はお金がある人が対象、そうではない人に対しても行政が取り組んでほしい。
- ACP 動画の DVD 貸し出し等で市民に広げていったらよい。
- 精神疾患の方の ACP の説明が難しい。全員で共有していくことが必要。

★次回開催は、令和 8 年 3 月～「透析患者の ACP」を予定



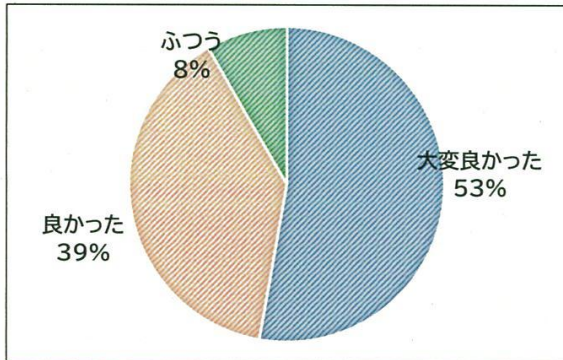
## R7年度第2回ACP事例検討会 アンケート結果

回答：36名

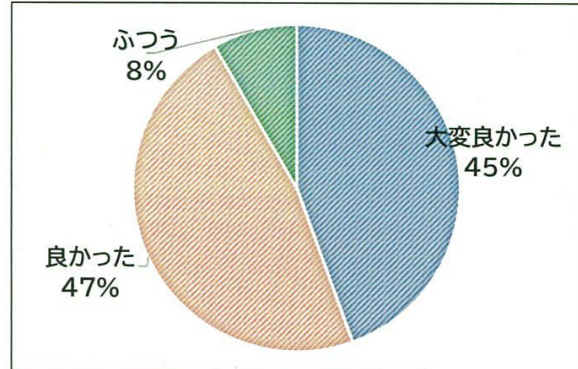
回収率： 97.3%

2025.11.19

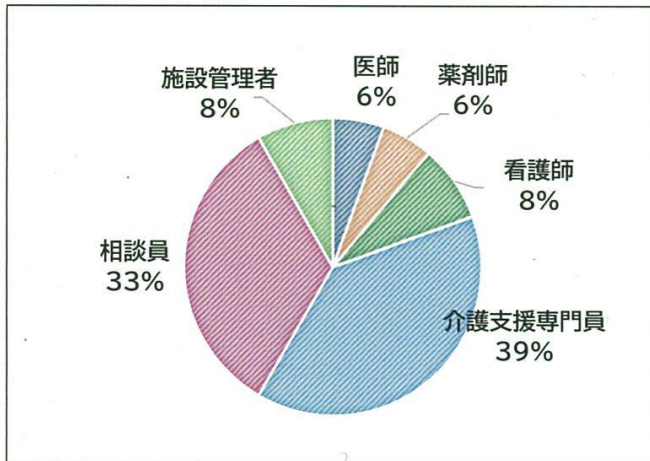
問1. 事例検討会の内容について感想を伺います



問2. 事例検討会の形式について感想を伺います



問3. 職種を伺います



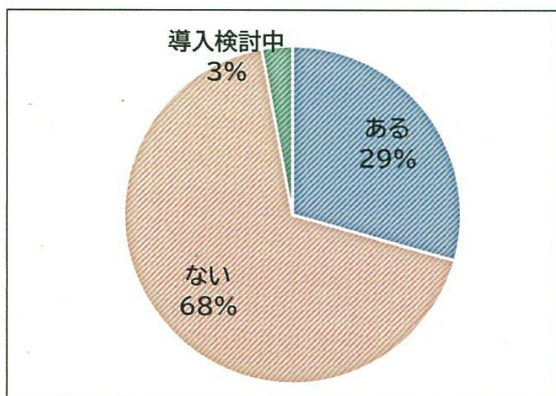
問6. 今後事例検討会で希望する疾患等

- がん疾患等
- 身寄りのない人の支援
- 精神疾患・認知症
- 夫婦の事例
- 人生について宗教的な話
- ACPを始めるタイミングとコツについて

【感想等自由意見】

- ・あんしんサポート事業について勉強になった
- ・自施設でもやりたい。とても良い研修だった
- ・脳性麻痺等の意思を伝える事が出来ない方も利用できる終活ノートになって欲しい
- ・行政の方の参加がなく残念
- ・GWで他職種の方の様々な話が聞けて良かった
- ・終活ノートの記入について啓発や声掛けでの成功例が聞きたい

問4. 自施設内でACP事例検討会を行ったことがありますか



問5. 患者又は利用者の情報提供の際にACPIに関する情報を必要時記載していますか

